

資料1(二)

令和2年度

ニホンザルに関する各種データ

令和3年8月

宮城県環境生活部自然保護課

サル被害状況

(単位:千円)

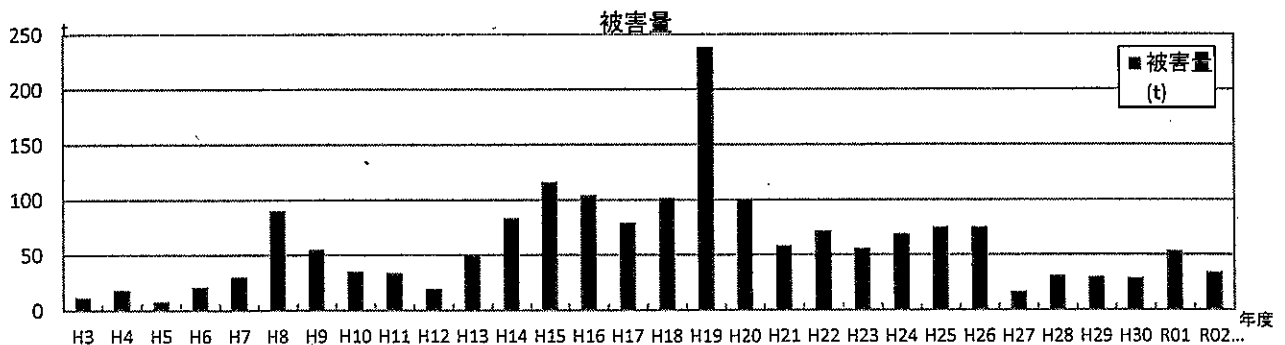
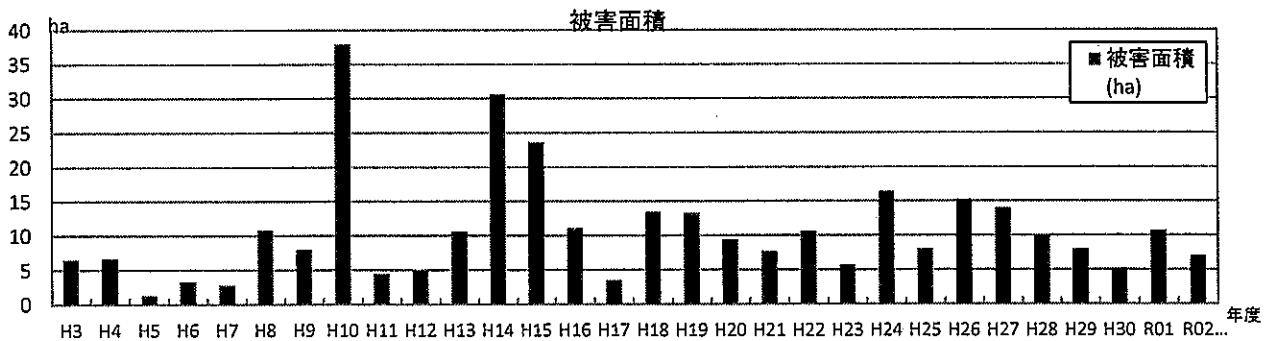
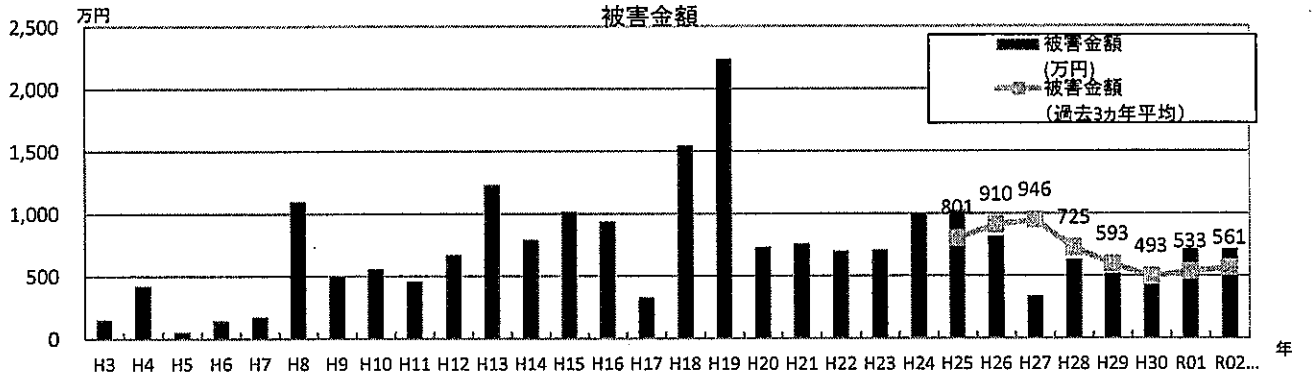
	被害金額 (万円)	被害面積 (ha)	被害量 (t)	被害金額 (過去3カ年平均)
H3	150	6.5	11.8	
H4	420	6.7	18.7	
H5	50	1.3	8.2	
H6	144	3.3	21.4	
H7	171	2.8	30.4	
H8	1,096	10.8	90.2	
H9	499	8.0	55.0	
H10	555	37.9	35.3	
H11	457	4.4	33.8	
H12	668	5.0	19.4	
H13	1,229	10.6	49.6	
H14	789	30.6	83.4	
H15	1,014	23.6	116.1	
H16	935	11.1	104.1	
H17	327	3.5	79.2	
H18	1,545	13.5	101.7	
H19	2,238	13.3	238.0	
H20	730	9.4	100.9	
H21	759	7.7	58.2	
H22	697	10.6	71.6	
H23	706	5.7	55.4	
H24	999	16.4	68.9	
H25	1,025	8.1	75.1	801
H26	814	15.2	75.1	910
H27	336	14.0	16.5	946
H28	628	9.9	31.2	725
H29	516	8.0	30	593
H30	455	5.2	29	493
R01	712	10.7	53.6	533
R02 (速報)	712	7.0	34.2	561

計画策定 市町村	H28		H29		H30		R01		R02	
	被害金額	目標	被害金額	目標	被害金額	目標	被害金額	目標	被害金額	
白石市	2,468	2,220	3,494	3,150	3,275	2,947	2,970	3,166	4,913	
角田市	0	0	7	0	0	0	0	0	0	
蔵王町	40	10	34	37	25	37	22	37	36	
七ヶ宿町	2,740	2,930	307	2,470	344	275	1,369	247	470	
川崎町	347	346	706	494	178	124	161	113	198	
丸森町	0	100	0	100	51	100	179	100	179	
仙台市	168	470	94	120	315	120	30	120	110	
山元町	126	100	11	100	0	100	0	108	0	
大崎市	0	-	1	-	1	-	0	-	283	
加美町	391	243	507	405	363	507	2,386	371	930	
合計	6,280	6,419	5,161	6,876	4,552	4,210	7,117	4,262	7,119	

1期計画	
2期計画	
3期計画	
4期計画	

※蔵王町は平成29年度より計画対象となったため、平成28年度以前は参考。

※ 第二期宮城県ニホンザル保護管理計画については、東日本大震災の影響により、当初計画の5年を1年延長して6カ年で実施。
第三期計画は、鳥獣保護管理事業計画の最終年に合わせ、平成25年度から平成28年度までの4カ年計画で策定。



サル捕獲状況

	有害	個体数調整	計
H1	1	0	1
H2	0	0	0
H3	28	0	28
H4	31	0	31
H5	5	0	5
H6	25	0	25
H7	38	0	38
H8	45	0	45
H9	24	0	24
H10	65	0	65
H11	69	0	69
H12	31	0	31
H13	96	0	96
H14	57	0	57
H15	56	0	56
H16	64	0	64
H17	0	48	48
H18	0	204	204
H19	0	59	59
H20	0	132	132
H21	0	149	149
H22	0	190	190
H23	0	146	146
H24	0	164	164
H25	0	138	138
H26	0	269	269
H27	135	84	219
H28	197	115	312
H29	95	73	168
H30	166	108	274
R01	326	0	326
R02	420	0	420

市町村	H29		H30		R01		R02	
	捕獲目標	捕獲数	捕獲目標	捕獲数	捕獲目標	捕獲数	捕獲目標	捕獲数
白石市	50	19	50	39	50	30	50	51
角田市	15	0	15	0	15	0	10	0
蔵王町	50	2	50	1	50	3	50	0
七ヶ宿町	300	32	200	35	200	97	300	198
川崎町	50	12	50	24	50	37	50	50
丸森町	25	22	22	14	20	19	20	34
仙台市	130	73	130	108	130	80	130	63
山元町	10	0	10	0	10	1	10	0
大崎市	—	0	—	0	—	0	—	0
加美町	30	8	50	52	50	59	50	24
合計	660	168	577	273	575	326	670	420

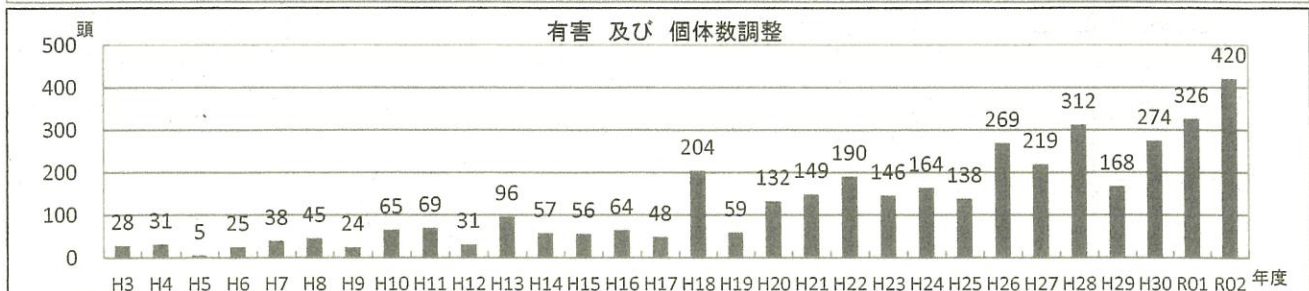
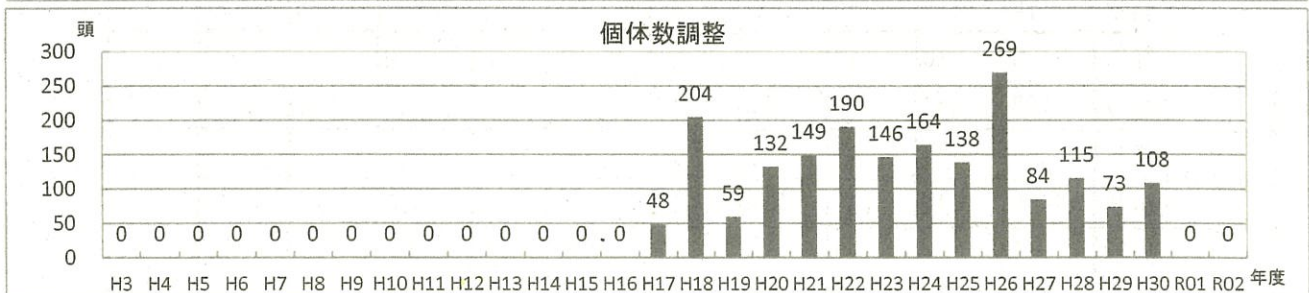
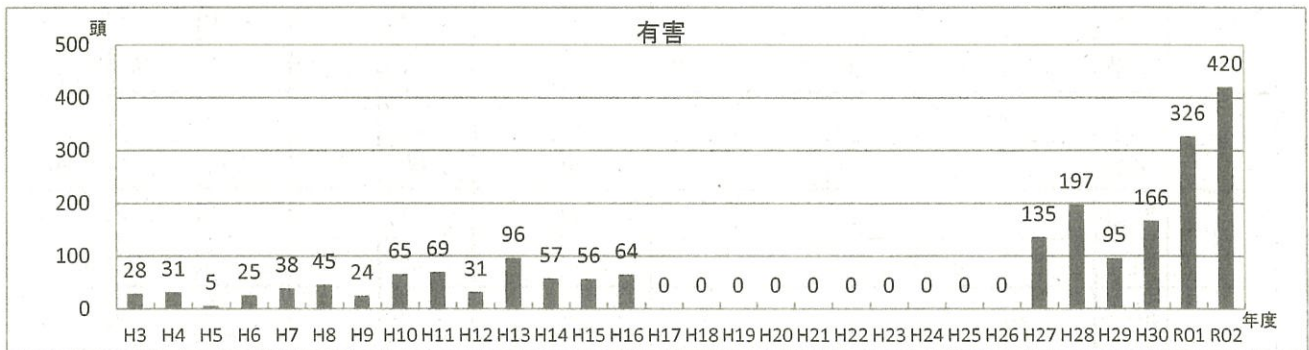
・平成30年度、上記市町以外で、石巻市1頭捕獲(有害鳥獣捕獲)

・上記捕獲数とは別に、南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会において、発信機の増設、更新を行った。(白石市増設2頭、七ヶ宿町増設1頭・更新1頭、川崎町増設2頭、丸森町増設2頭)

・仙台市内では、16頭分の発信機を増設・更新している。(市内16群のうち12群13頭に発信機装着)

※ 第二期宮城県ニホンサル保護管理計画については、東日本大震災の影響により、当初計画の5年を1年延長して6力年で実施。

第三期計画は、鳥獣保護事業計画の最終年に合わせ、平成25年度から平成28年度までの4力年計画で策定。



宮城県ポピュレーション変遷

単位：年度、頭

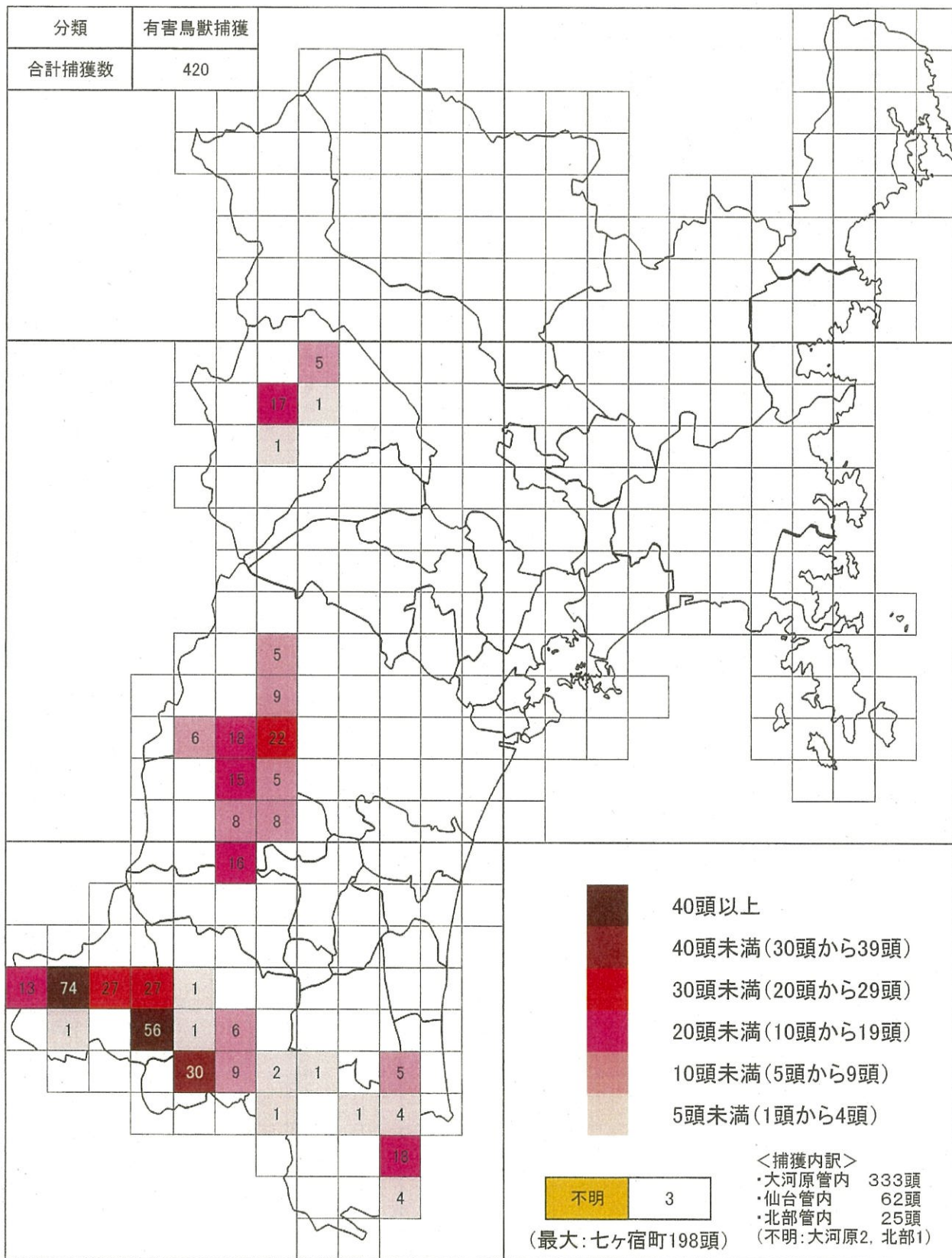
名称		加美	仙台・川崎	七ヶ宿	白石	丸森西部	丸森東部	大崎	ポピュレーション群	ハナレザル	内地計	金華山	合計
H16	群数	3	10	7	2	詳細不明		1	23	-	23	6	29
	頭数	100	560	440	80	詳細不明		50	1,230	290	1,520	230	1,750
H17	群数	3	11	7	2	詳細不明		1	24	-	24	6	30
	頭数	110	580	360	80	詳細不明		60	1,190	300	1,490	210	1,700
H18	群数	3	12	7	3	2		1	28	-	28	6	34
	頭数	130	650	370	120	100		60	1,430	380	1,810	245	2,055
H19	群数	3	12	7	3	1	1	1	28	-	28	6	34
	群数	3	12	7	3	1	(2)	1	(29)	-	(29)	6	(35)
	頭数	140	548	394	140	30	100	50	1,402	420	1,822	219	2,041
H20	群数	3	13	7	3	1	1	1	29	-	29	6	35
	群数	3	13	7	3	1	(2)	1	(30)	-	(30)	6	(36)
	頭数	150	559	413	130	30	100	30	1,412	395	1,807	249	2,056
H21	群数	3	14	7	3	1	2	1	31	-	31	6	37
	頭数	150	589	501	130	30	150	20	1,570	471	2,041	254	2,295
H22	群数	3	15	10	3	1	2	1	35	-	35	6	41
	頭数	120	614	666	130	26	150	7	1,713	514	2,227	243	2,470
H23	群数	4	14	10	3	1	2	1	35	-	35	6	41
	頭数	133	639	609	205	30	150	2	1,768	530	2,298	259	2,557
H24	群数	4	17	12	4	1	2	-	40	-	40	6	46
	頭数	145	684	706	265	30	146	-	1,976	593	2,569	264	2,833
H25	群数	4	17	13	5	1	2	-	42	-	42	6	48
	頭数	145	744	712	315	31	146	-	2,093	628	2,721	239	2,960
H26	群数	5	19	13	7	1	3	-	48	-	48	6	54
	頭数	176	808	694	380	31	215	-	2,304	691	2,995	305	3,300
H27	群数	5	19	13	7	1	3	-	48	-	48	6	54
	頭数	176	811	740	330	31	197	-	2,285	686	2,971	277	3,248
H28	群数	5	20	13	7	1	4	-	50	-	50	6	56
	頭数	188	847	730	365	18	147	-	2,295	687	2,982	269	3,251
H29	群数	5	20	13	7	1	6	-	52	-	52	6	58
	頭数	182	841	731	375	18	197	-	2,344	703	3,047	249	3,296
H30	群数	5	20	13	7	1	6	-	52	-	52	6	58
	頭数	168	801	757	346	18	207	-	2,297	689	2,986	251	3,237
R01	群数	5	22	13	7	1	6	-	54	-	54	6	60
	頭数	202	796	689	364	18	228	-	2,297	689	2,986	265	3,251
R02	群数	4	21	13	9	1	6	-	54	-	54	6	60
	頭数	132	782	675	372	18	267	-	2,246	674	2,920	244	3,164

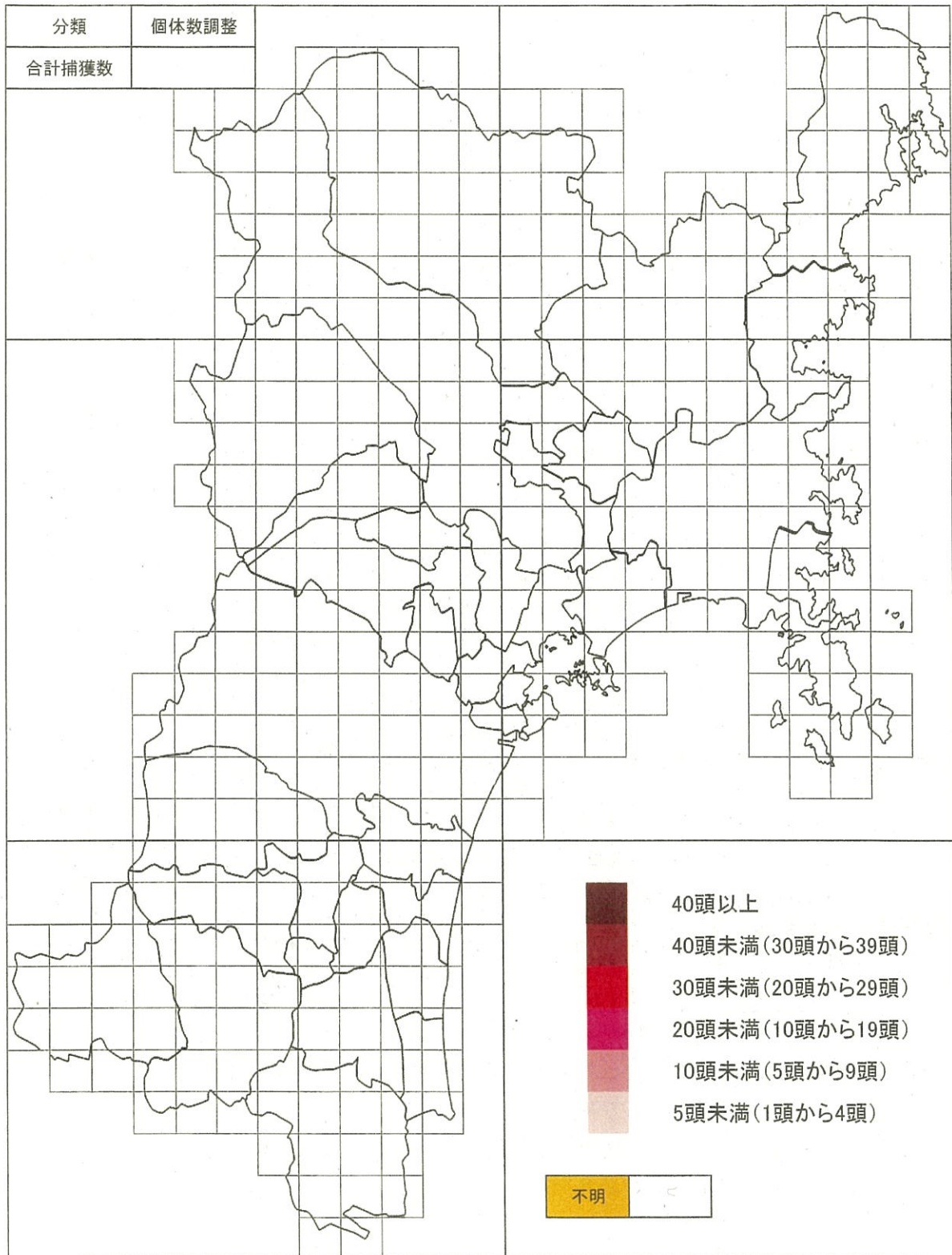
※ 出典：ニホンザル保護管理事業報告書

※ 群数の（ ）の数字は、不明群を加算した数値である。

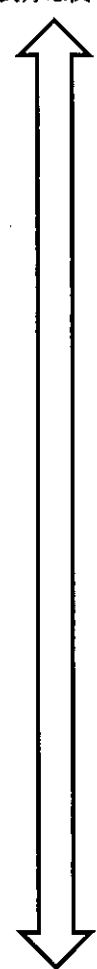
県内の群れの変遷 (H16~R02)

郡市	群れの名称	評価	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	再評価	備考						
加美	小野田A群	A~B	20~40	50	30	60	60	60	50	40	20	20	20	30	30	38	38	38	18	—	—						
	小野田B群	B~C	10	10	20	20	30	30	30	20	20	20	30	30	38	38	38	18	—	D							
	宮崎A群		40~50	50	55	60	60	60	40	40	40	40	40	40	40	40	21	21	—	—		R30全額削減により削減					
	宮崎B群	A~B							33	35	35	29	29	29	29	29	29	31	37	F~WF							
仙台・川崎	奥新川A-1群			70	50~60	44	42	24	24	16	19	16	16	16	16	10	11	1	—	—		R2.7全額削減により削減					
	奥新川A-2群		100			9	6	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		R2.5全額削減により削減					
	奥新川B-1群			40	22	9	9	13	13	14	14	14	12	16	12	4	2	—	—	—		R31年度全額削減により削減					
	奥新川B-2群																										
	奥新川B-3群																										
	新田平群																										
	秋保大池A群																										
	秋保大池B群	WF	60	65	65	41	44	30	25	28	30	18	14	18	18	—	—	—	—	—	—		R28~R30全額削減により削減				
	定規A群																										
	定規B群																										
	二口A群	D~E																									
	二口B群		70	73	80	80	90	90	100	100																	
	高倉山A群	E~F	70	80	100	90~100	100	100	100	100	40	44	44	44	44	44	35	35	35	35			R30大幅縮減、R31年度縮減				
	高倉山B群																										
	高倉山C群																										
	四山峠A群		40	30	40	40	50	50	45	45	45	45	37	37	45	45	45	22	21				R2年度分償還				
	四山峠B群																										
	太郎川の群れ	C~D	30~40	50	50~60	60~70	45	40	45	46	46	50	50	50	50	50	50	49	67	67							
	本野金の群れ	D~E							50	50	80	95	86	80	80	80	44	37	41	27				R31~R32年度縮減			
	三遊山の群れ																										
小泉山の群れ																											
笹谷線A1群	E	60~65	60~65	60~65	60~65	60~65	80	80	80	80	80	70	70	70	70	104	104	48	48				R31年度分償還				
笹谷線A2群																											
笹谷線B群																											
青根の群れ																											
七ヶ宿	七ヶ宿A群	E~F	57	68	63	52	63	66	37	31	37	39	25	36	36	36	51	51	51								
	七ヶ宿B群	E~F	59	61	55	58	48	63	59	51	53	51	49	37	51	51	51	32	22					R31年度縮減による減少			
	七ヶ宿C群	E~F	82	43	51	71	78	82	67	60	59	49	39	52	52	52	52	52	52								
	七ヶ宿D群	E~F	74	56	68	68	62	64	93	94	118	117	121	120	121	121	121	121	121								
	七ヶ宿E群	E~F	78	66	69	72	81	102	137	137	78	61	62	63	38	38	38	38	38						R30年度分償還		
	七ヶ宿F群	E	38	43	36	38	42	79	76	51	71	48	31	57	56	56	45	30	30								
	七ヶ宿G群	E~F	23	26	31	35	39	45	54	38	55	53	53	55	56	56	56	56	56								
	七ヶ宿H群																										
	七ヶ宿I群																										
	七ヶ宿J群																										
	七ヶ宿K群																										
	七ヶ宿L群																										
	七ヶ宿M群																										
	白石	戸沢A群	(新規)	45	50	40~50	50	50	50	50	85	85	85	90	101	110	121	121	121	121	19				R2年度分償還		
戸沢B群		(新規)																		106					R2年度分償還		
狼鼻A群		(新規)																		21					R2年度分償還		
狼鼻B群		(新規)	不明	30	不明	30	30	30	30	60	60	60	60	35	35	35	35	35	35	48					R2年度分償還		
江志前の群れ		F		不明	40~50	60	50	50	50	60	100	100	100	64	80	80	80	80	80	42							
新町A群		(新規)																		14					R31年度分償還		
新町B群		(新規)																		33						R2年度分償還	
上戸沢の群れ																				72						R2年度分償還	
越前の群れ		(新規)																		17						R2年度分償還	
若狭平明群																				48						R24年度追加、R2地群れと推定	
若狭平明群																			30						R26年度追加、R2地群れと推定		
大崎	鳴瀬右岸群		50	60	40~50	40~50	30	20	7	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		R24年度削減		
	鳴瀬左岸群																										
丸森西部	野野の群れ	WF	不明	不明	30~40	30~40	30~40	30	26	30	30	31	31	31	18	18	18	18	18	18							
	浮栗の群れ		不明	不明	30~40	30~40	30~40	50	50	50	50	50	50	32	41	41	41	41	60								
	大内の群れ	F			不明	60~70	60~70	100	100	100	96	96	155	155	155	155	155	155	155	155							
	大内A1群																			70						元大内の群れ (R28に整理)	
	大内A2群																			20						元大内の群れ (R28に整理)	
	大内A3群																			20						R29年度追加	
丸森東部	大内B群																			10						元大内分群 (R28に整理)	
	野野の群れ																			30						R29年度追加	
	野野の群れ																			40						R29年度追加	
	野野の群れ																			40						R29年度追加	
	野野の群れ																			42						R29年度追加	
	野野の群れ																			42						R29年度追加	
内地計								1,570	1,713	1,768	1,976	2,093	2,304	2,285	2,295	2,344	2,297	2,297	2,246							R3.3現在 54群れ	
金華山	A		30	26	34	28	36	50	37	56	56	48	63	58	66	61	68	62	52							※純野生群のため評価対象外	
	B1		21	22	30	26	34	48	34	42	40	35	48	50	51	55	47	39	39								
	B2		13	10	15	14	17	20	19	27	24	25	31	32	27	27	22	22	22								
	C1		20	19	19	13	18	23	15	25	25	14	13	11	22	12	13	12	13								
	C2																										





ニホンザルの群れ評価の判定基準

評価項目 評価レベル	人に対する反応	農地への 出方	住宅地への 出方	各種威嚇に 対する反応	追い上げのしやすさ の程度*	関係状態
A	数 100m の距離があっても接近して来る人の姿を見れば逃げる	出 没 し な い	出 没 し な い	威嚇する前に逃げ去る	① 上流側にはいない。下流側にはいる場合とない場合がある。 ② 良好。農耕地がない。	 <p>評価が高い (良好な関係)</p> <p>評価が低い (険悪な関係)</p>
B	人との距離が 50～100m になると逃げる	時に群れのオスが出 没 する	出 没 し な い	強力花火を撃つとただちに逃げ去る	① 上流側にはいない。下流側にはいる場合とない場合がある。 ② 良好。農耕地はわずか。	
C	人との距離が 50m 以内になっても逃げないことがある	時にオトナメスも出 没 する	警戒しながらも住宅地のすぐ近くまで来ることがある	強力花火だとゆっくりと、銃器を使用すると急速に逃げる	① 上流側にはいない。下流側にはいる場合とない場合がある。 ② 良好。農耕地や人家が少しある。	
D	追い払ったら逃げるが、そうしなければ人を無視する	頻繁にオスやオトナメスが出 没 する	移動時に住宅地を通過する	強力花火や銃器等を併用するとゆっくりとだが逃げる	① 上流側にはいない。下流側にはいる場合とない場合がある。 ② やや良好。農耕地や人家がかなりある。	
E	追い払っても遠くへは逃げずに身を隠すだけのことが多い	頻繁にコドモやアカンボウも出 没 する	休息時にも住宅地の人工物を利用することがある	強力花火や銃器等を併用しても逃げない個体がいる	① 上流側にいる。下流側にはいる場合とない場合がある。 ② 森林の面積より植林地・農耕地・宅地等の面積が上回る。	
F	人を恐れず、すぐ近くに身を隠すだけである	常に群れの全員が出 没 する	移動や休息に頻繁に利用し、軒下につるした農作物まで採食する	なにを使用しても近くにとどまり、移動方向を変えない	① 上流側にいる。下流側にいない。 ② 植林以外の森林面積が多くなり、農耕地や人家が入り組んで存在する。	
WF	逆に人を威嚇したり攻撃する場合もある	農地に居座った状態になる	家屋内まで侵入して食物をあさったり、人の手から食物を強奪させる	あらゆる威嚇道具への対処法を学習し、逆に人に向ってくることもある	① 上流側にいる。下流側にいない。 ② 平坦な地形で植林以外の森林面積がほとんどなく、農耕地と人家が連続して存在する。	

*: ①上流側と下流側の隣接群の存在, ②追い上げ目標地域の森林の状態

注) WF レベルを新たに追加設定した背景には次のような諸事情がある。

- 1) 群れの一部が市街地にまで進出している。
- 2) 群れ又は群れの一部が市街地を含む住宅密集地に遊動域を構えている。
- 3) 農業被害以外の生活被害が多発化しつつあり、人的被害が発生する危険性もきわめて高い。

このような地域は、平坦な地形が多くかつ人口密度が高いことから「銃器の使用ができないこと」、高齢者や乳児・幼児への悪影響から「爆音の強力な花火等の使用もできないこと」など、追い上げはもとより追い払いすら困難な状況にある。



0 10 20 km



南奥羽・飯豊南個体群

加美ポピュレーション

仙台・川崎ポピュレーション

鳴瀬川

金華山個体群

金華山ポピュレーション

広瀬川

名取川

七ヶ宿ポピュレーション

白石川

阿武隈川

丸森西部ポピュレーション

白石ポピュレーション

原町個体群

丸森東部ポピュレーション

— 地域個体群
--- ポピュレーション

ポピュレーションの中の枠は
群れの行動圏を示す

図1 宮城県における群れの空間配置 (令和2年度調査)

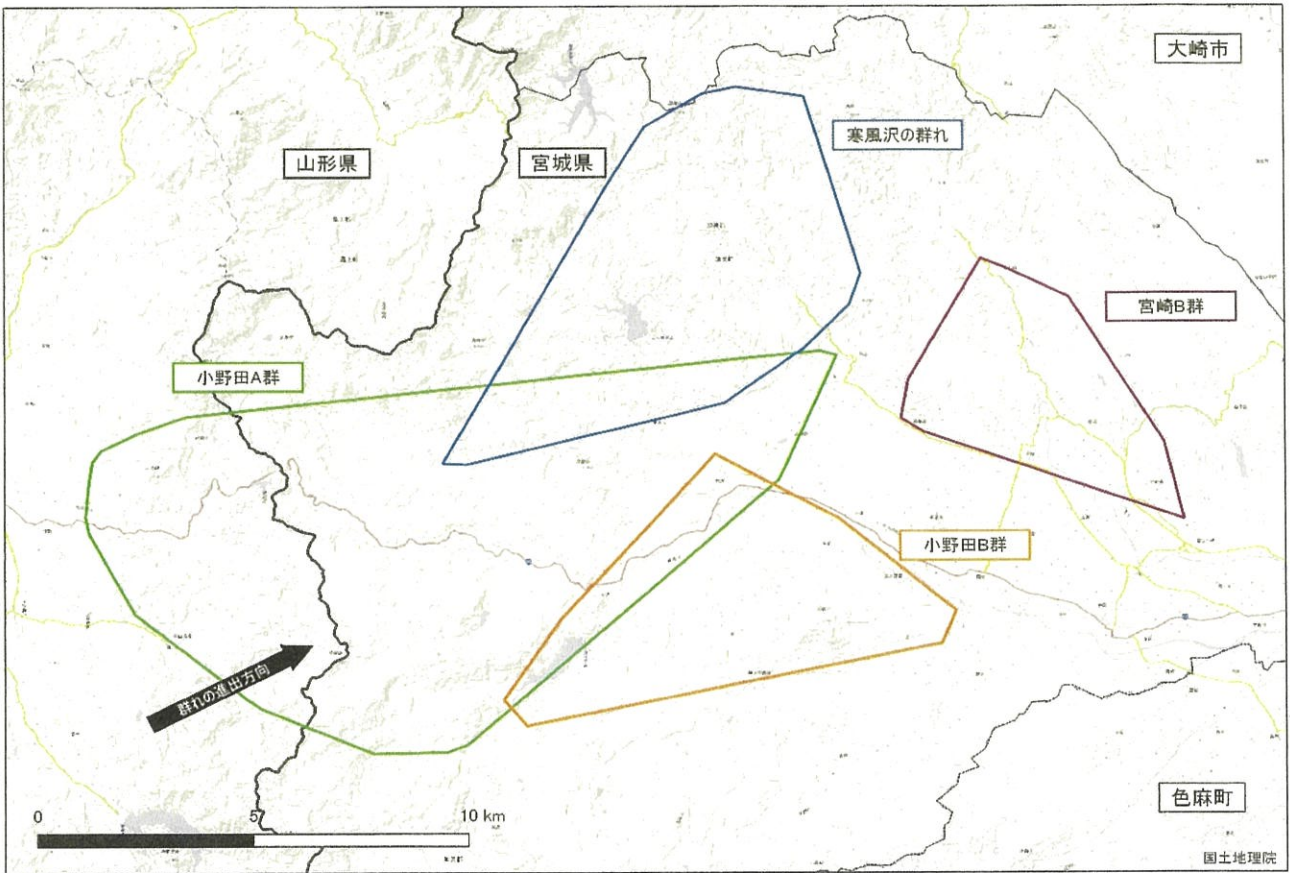


図2 加美ポピュレーションに属する4群の推定遊動域 (推定)

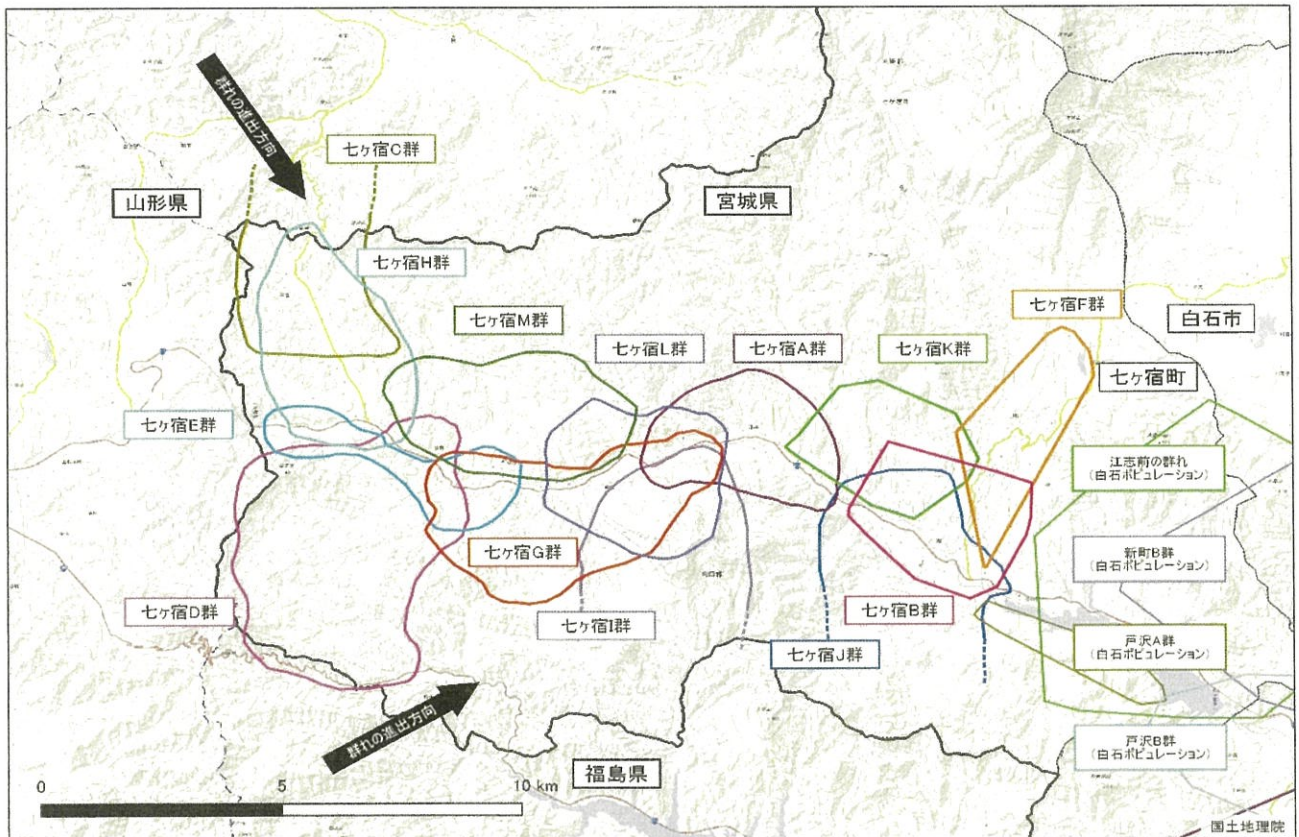


図3 七ヶ宿ポピュレーションに属する13群の推定遊動域

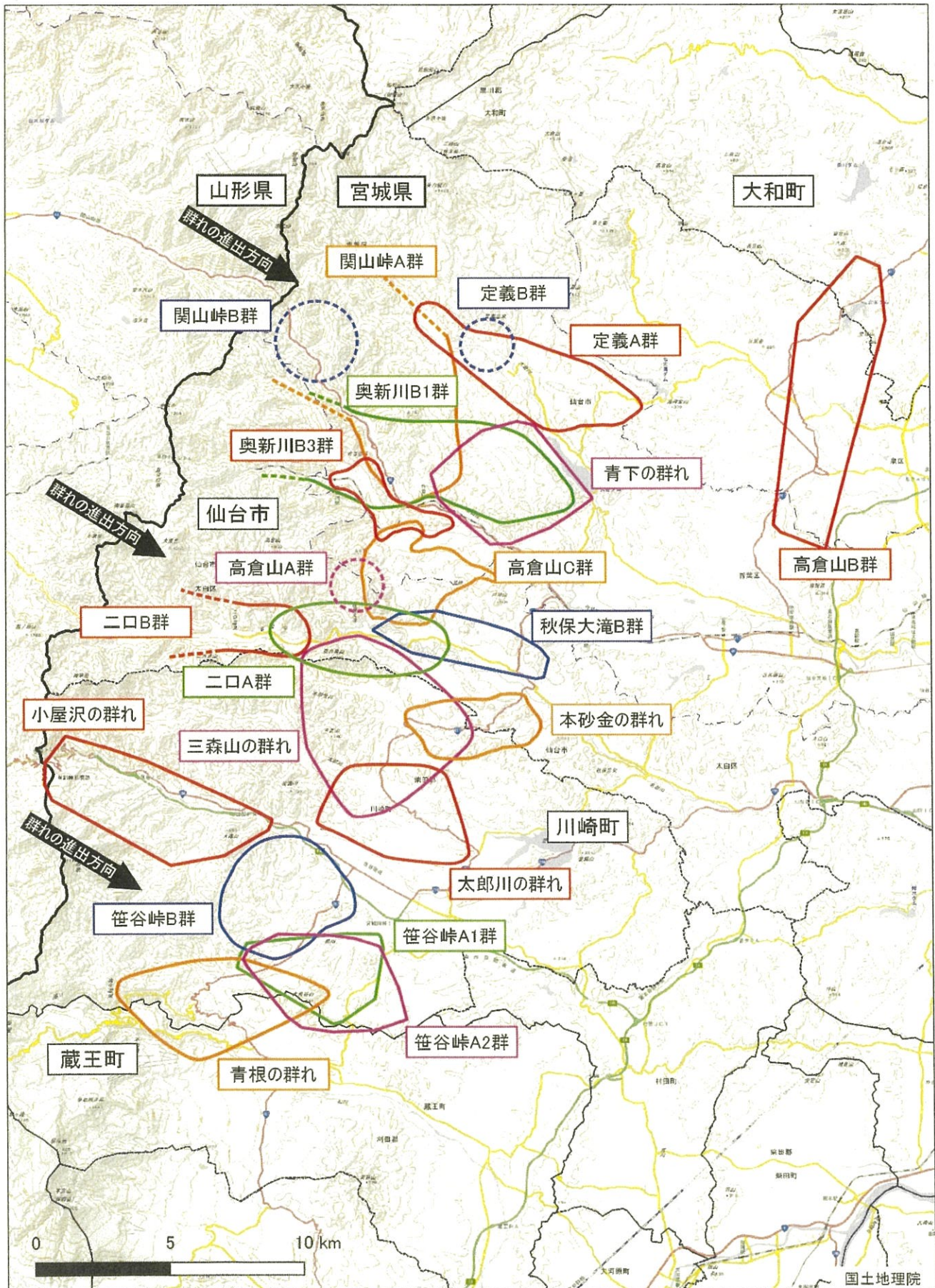


図4-1 仙台・川崎ポピュレーションに属する21群の推定遊動域

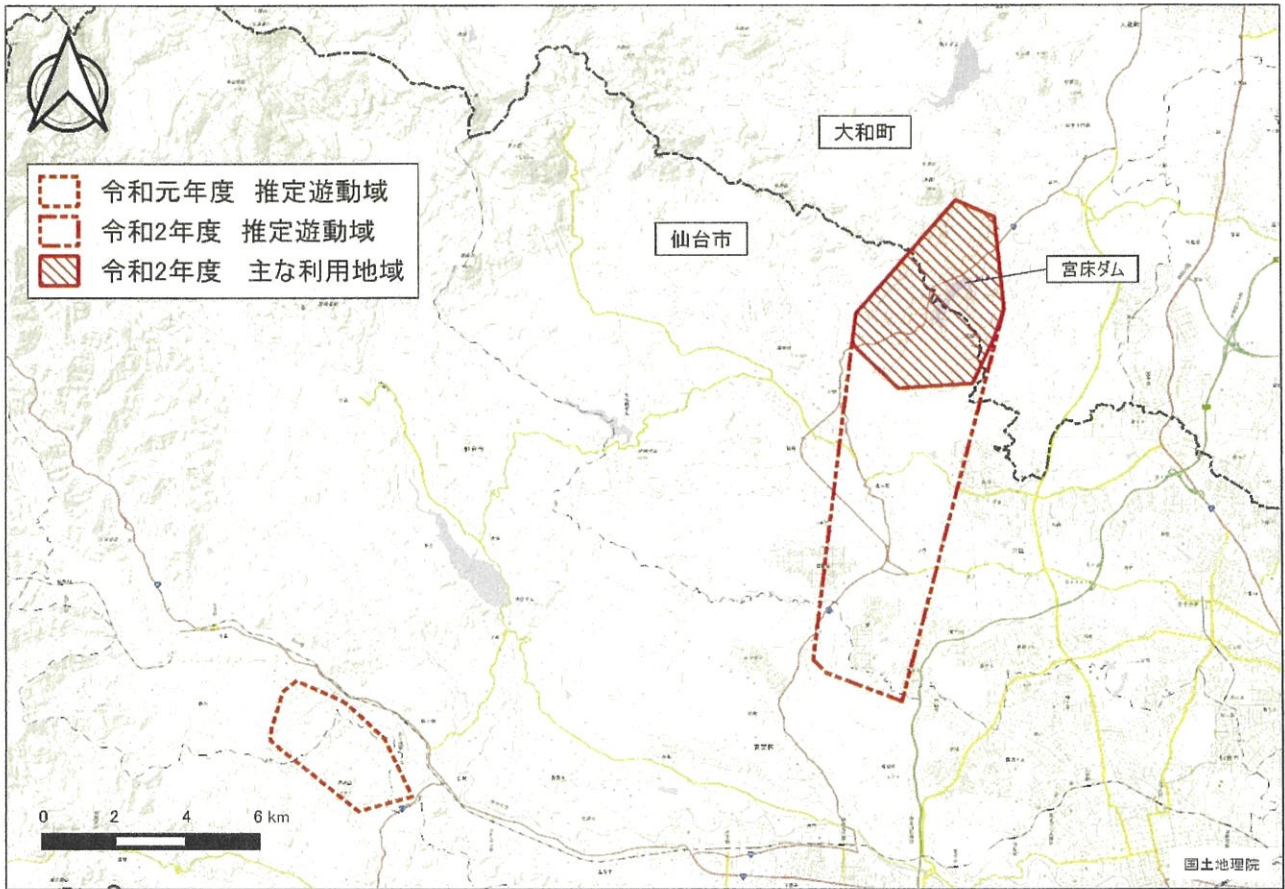


図4-2 「高倉山B群」の推定遊動域の変化

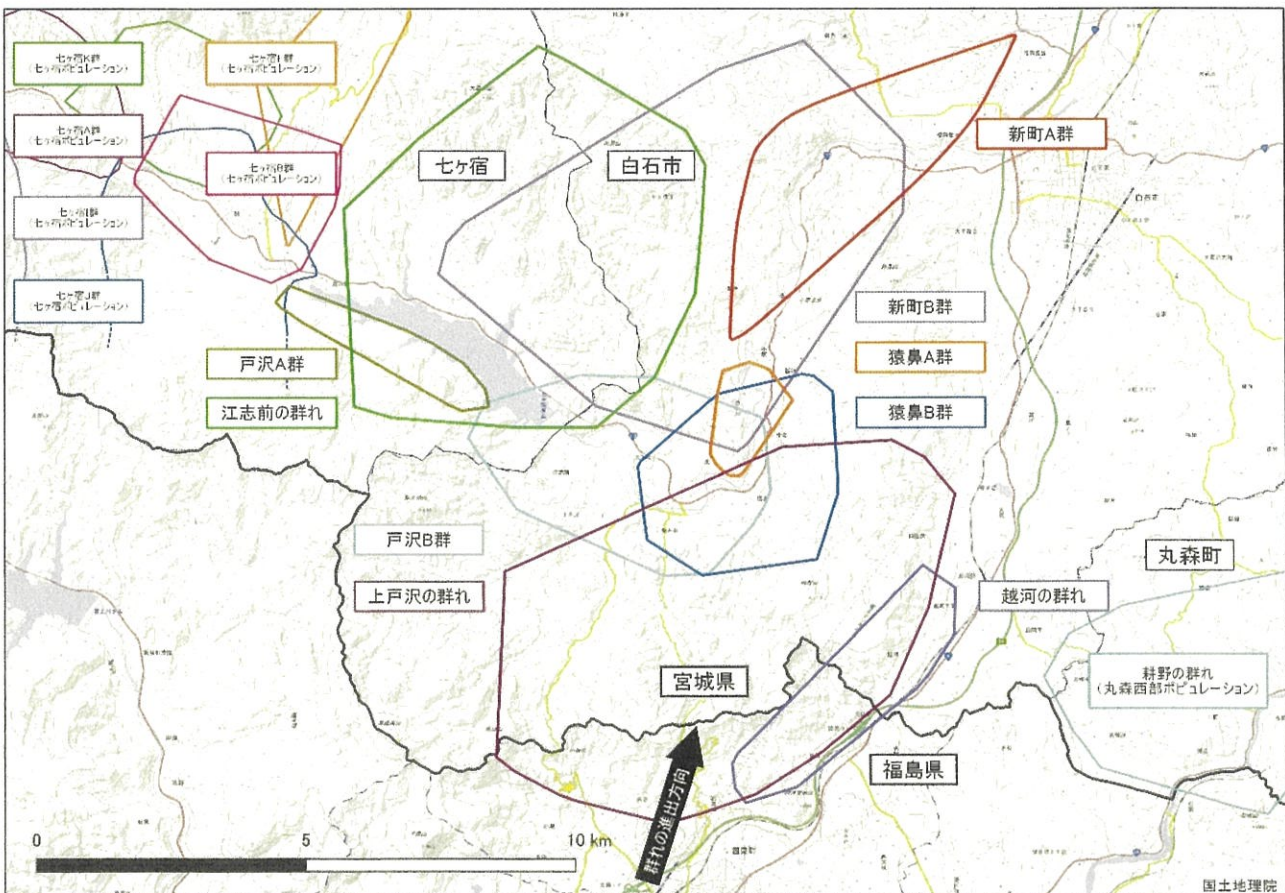


図5 白石ポピュレーションに属する9群の推定遊動域

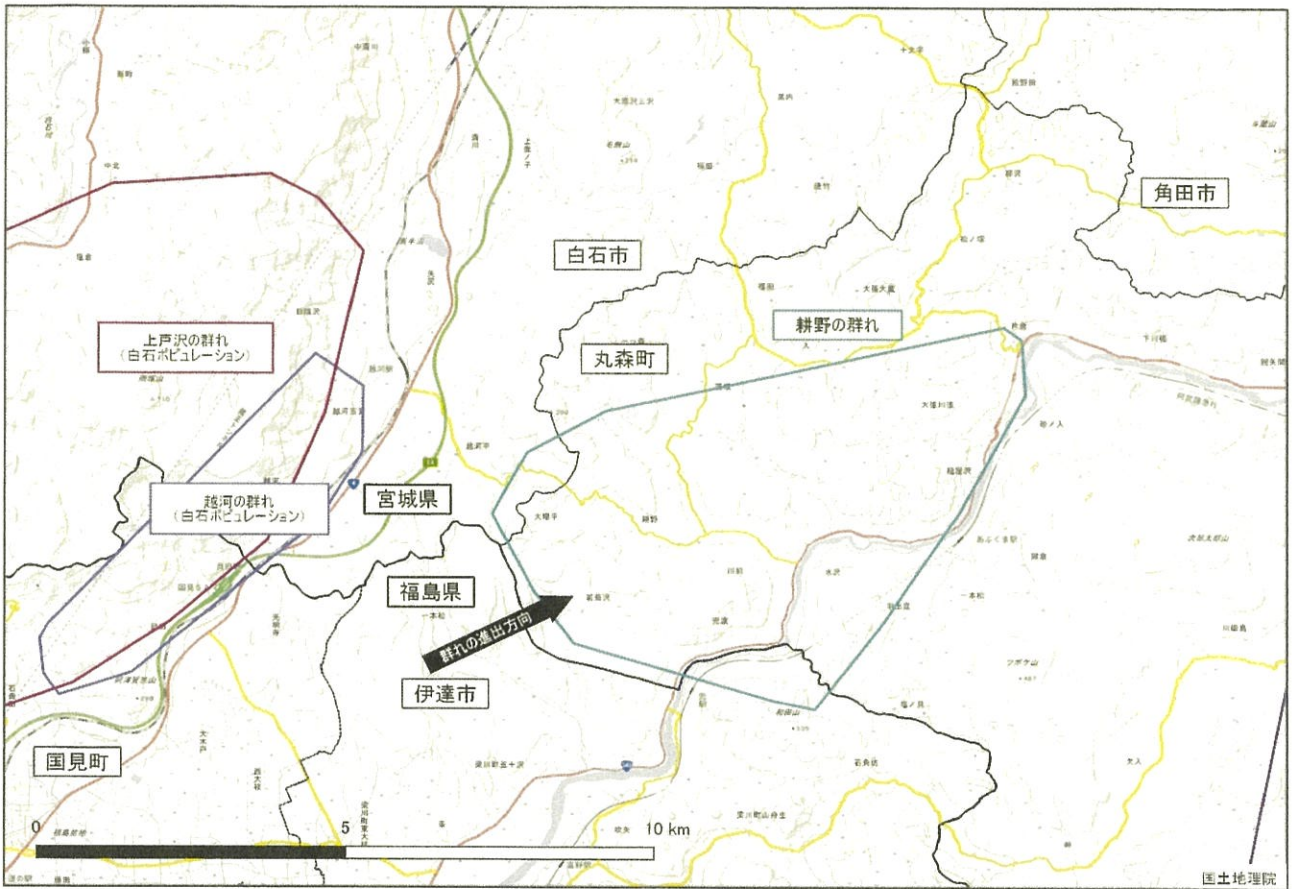


図6 丸森西部ポピュレーションに属する「耕野の群れ」推定遊動域

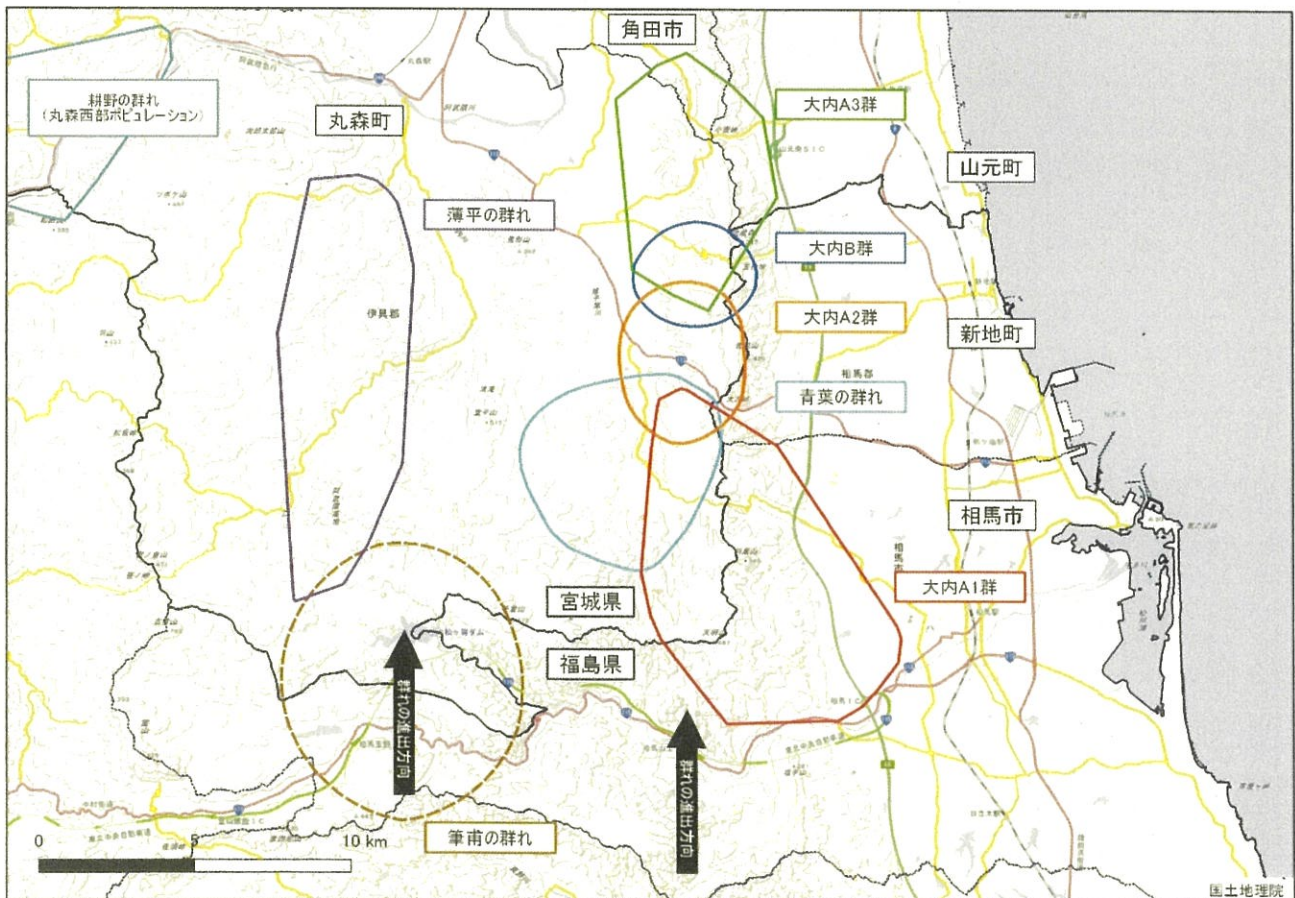


図7 丸森東部ポピュレーションに属する6群の推定遊動域

